

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当の基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.ajis.jp/ir/e-koukoku/index.html ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

ホームページのご案内

当社ホームページには、会社情報やサービス紹介、ニュースリリースといった基本的な情報はもちろん、株主・投資家情報では、経営情報、財務ハイライトなどの情報をご覧いただけます。是非ご覧ください。



株主優待制度のご案内

株式会社エイジスは、株主の皆様への利益還元のひとつとして株主優待制度を実施しております。

割当
基準日 9月末日



優待内容

100株以上
1,000株未満所有

お米券
3kg

1,000株以上
10,000株未満所有

お米券
5kg

10,000株以上
所有

お米券
10kg

※当社は、2017年4月1日に1:2の株式分割を行いました。
なお、分割後も優待条件は変更しておりません。

株式会社エイジス

証券コード：4659



AJIS

Your Partner in Retail Solutions

第41期 中間報告書

2017年4月1日 ―― 2017年9月30日



AJIS

株式会社エイジス

〒262-0032 千葉県千葉市花見川区幕張町4-544-4
TEL:043-350-0888 FAX:043-350-0800

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



各セグメントが目標を見据え、 新中期経営計画初年度の歩みを 確実なものとしします——

代表取締役社長 齋藤 昭生



**第2四半期までの事業環境と業績について
お聞かせください。**

**連結売上高と経常利益につきましては、
中間期の過去最高を更新しております。**

当第2四半期連結累計期間(以下、当中間期)におけるわが国経済は、底堅い内外需を背景に景気回復基調が続きました。当社グループの主要顧客であります流通小売業界におきましては、消費者の節約志向等により、個人消費の動向は不透明な状況が続き、同業他社や他業態との競争激化および人材確保が困難な状況が続く等、依然厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下、当中間期の連結経営成績は、売上高が前年

同四半期比(以下、前中間期比)で2.7%の増収となり、営業利益は0.6%(同)の減益、経常利益は0.2%(同)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は4.1%(同)の減益となりました。一方で、連結売上高と経常利益につきましては、中間期の過去最高を更新しております。

**「国内棚卸サービス」の状況について
お聞かせください。**

**減収・減益となりましたが、
生産性が大きく改善しました。**

前中間期に計上した臨時の大型受注による増収分を当中間期に

継続できなかったこと、および長時間労働抑制のため前中間期に行った繁忙時期における業務の受注調整分を当中間期に復元しきれなかったことにより、売上高は8,421百万円(前中間期比4.6%減)となり、セグメント利益は1,073百万円(同10.0%減)となりました。

しかし、一方で重点施策と位置づけ、積極的に取り組んでまいりました棚卸作業の生産性の改善につきましては、新型棚卸端末機器の導入や棚卸経験者比率の向上により、当中間期において前期比10.3%増と大幅に伸長いたしました。賃金制度・基本時給の改定により現場段階での労働単価は前期比6.7%増と大きく上昇しましたが、生産性の伸長が労働単価の上昇を吸収し、セグメントの売上総利益率としては前中間期比で1.2ポイント上昇しております。

**「リテイルサポートサービス」と
「海外棚卸サービス」の状況はどうか。**

**両セグメントともに業績は順調に
推移しております。**

「リテイルサポートサービス」においては、前期に非連結子会社を吸収合併し、商号変更を行ったエイジスマーチャンダイジングサービス株式会社が引き続き業績を伸ばしており、新規出店時や店舗改装時の商品陳列等による売場作り、店舗商品補充業務の受注拡大により、売上が増加基調で推移しております。また、利益面でも管理部門や現場スタッフの共有など経営統合による効果が徐々に現れております。この結果、売上高は3,388百万円(前中間期比22.5%増)、セグメント利益は310百万円(同48.5%増)となりました。

また、同セグメントの売上高が連結売上高合計に占める比率は、2015年度は15.7%でありましたが、前年度では22.0%、そして、今年度においては26.2%と拡大しており、「リテイルサポートサービス」を『確固たる第2の事業柱として育て上げる』という目標が、順調に推移しております。

また、「海外棚卸サービス」においては、既存顧客からの受注増加、新規営業の成果もあり、売上は増加基調で推移しており、売上高は1,109百万円(前中間期比13.2%増)、セグメント利益は93百万円(同1.8%増)となりました。

同セグメントは、2015年度に黒字化を果たし、前年度は連結対象である海外7子会社全てで黒字化を実現しました。今年度におきましても安定した収益体制が継続し、規模拡大の土台づくりが進んでおります。一方で、一部の子会社において業績が振るわなかったことにより大幅な業績の拡大とはならなかったことを受けて、経営陣の刷新も含めた抜本的な対策を講じてまいります。

業績以外の新たなトピックスを教えてください。

**刷新したグループロゴマークの下、
“次”を見据えた取り組みが始まっています。**

第40期報告書でお知らせしましたように、当社は2018年に創業40周年を迎えるにあたり、新たなグループロゴマークに変更いたしました。これまでの『棚卸のエイジス』から『アジアを代表するリテイルサポートサービスのエイジスグループ』への飛躍と事業をグローバルに拡大する意味が込められております。新たなグループロゴマークに基づいて、Webサイトの改修や制服の刷新など、コーポレート・イメージの展開を順次進めております。

また、国内におきましては、生産性のさらなる向上を目指し、新たなテクノロジーを組み込んだ次世代端末機器の研究開発に着手しました。一方で、経営幹部の現地化をほぼ完了した「海外棚卸サービス」においては、現場スタッフの指導など、日本からの技術支援活動を強化しております。日本国内で導入し成果のあった施策については、速やかに海外子会社へ“水平展開”できる体制を整えつつあります。

Q

「働き方改革」が叫ばれていますが、その取り組みについて教えてください。

A

経営の最重要課題と認識しております。

当社は前期に長時間労働に関する指導を受けましたが、是正指導内容については既に解消しております。働きやすい環境の整備、長時間労働の是正、業務量の平準化、賃金制度・基本時給の改定など、喫緊の経営課題としてこの問題に取り組んだ結果、棚卸作業生産性を向上させることにつながりました。

現在は、その取り組みを現場だけでなく現場以外にも広げ、オフィス作業の効率化に着手しました。これまで“常識”と考えていたことのなかに生産性を阻害することはないかという視点から、4つのタスクチームが中心となり、全ての領域の見直し、検討がされています。従業員が高いモチベーションを持って仕事に臨むことができる環境にすることで、さらに高いパフォーマンスが発揮され、生産性の向上につながることを目指しております。



Q

株主に向けてメッセージをお願いします。

A

新中期経営計画の初年度の歩みを確実に進めてまいります。

当期は新中期経営計画(2017年度～2019年度)の初年度となりますが、ご説明させていただきましたように、当中間期において、連結売上高はほぼ前期並みで推移したことから、計画数値を達成できませんでした。ここでの未達成分を含め、第3四半期以降、各セグメントにおいて以下に重点をおき、計画数値の達成に向けて努力してまいります。

「国内棚卸サービス」においては、『受注調整分の完全復元』を目標に、第3四半期の売上獲得と第4四半期における100%受注可能な体制づくりを進めます。また、生産性については、当中間期と同様に前期比2桁の伸長を維持してまいります。

「リテイルサポートサービス」においては、マーチャンダイジング部門では集中補充提供先からのサービス店舗拡大という営業活動と受注体制の構築を進め、さらには積極的に新規案件の開拓に注力し、またリサーチ部門では拡販継続と並行して売上・利益の上積みにも努めてまいります。

「海外棚卸サービス」においては、2017年10月25日～27日にマレーシアで開催された「アジア太平洋小売業者大会」にブースを出展したことを契機に積極的な広報活動を行い、棚卸サービスの認知・拡販に努めてまいります。

これらの取り組みにより一層の業容の拡大を図り、2018年3月期の連結経営指標として掲げている5期連続の増収・増益の達成に向けて、全社員一丸となってまい進する所存です。

株主の皆様におかれましては、当社グループの取り組みをご理解いただき、今後ともさらなるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

国内棚卸サービス

〈主なサービス内容〉

▶ 当社の実地棚卸サービス事業

商品棚卸：国内における利益管理・商品管理を目的として在庫金額・数量を確定するサービス。
資産棚卸：国内における企業オフィス等の情報機器、設備、什器等の固定資産の有効活用と管理を目的として資産を実地調査し、データベースを構築するサービス。
その他：単品棚卸システムを活用してPOSレジマスターに登録されている価格と売場に表示されている価格の不一致を実地に調査するスキャンチェックなど、流通業周辺の様々なサービス。



リテイルサポートサービス

〈主なサービス内容〉

▶ 国内連結子会社のリテイルサポートサービス事業

人材派遣：流通小売業周辺業務およびその他軽作業業務へ要員を派遣するサービス。
マーチャンダイジングサービス：棚割通りの棚替えや商品補充等により、売場作りを行うサービス。
カスタマーサービス・チェック：店舗における従業員の接客サービスレベルとストアコンディションを覆面調査員が調査するサービス。



海外棚卸サービス

〈主なサービス内容〉

▶ 海外連結子会社の実地棚卸サービス事業

商品棚卸：海外における利益管理・商品管理を目的として在庫金額・数量を確定するサービス。
資産棚卸：海外における企業オフィス等の情報機器、設備、什器等の固定資産の有効活用と管理を目的として資産を実地調査し、データベースを構築するサービス。
その他：単品棚卸システムを活用してPOSレジマスターに登録されている価格と売場に表示されている価格の不一致を実地に調査するスキャンチェックなど、流通業周辺の様々なサービス。



当中間期の業績について3つのポイント

POINT 1

連結売上高は増収を確保

中間期過去最高を更新

POINT 2

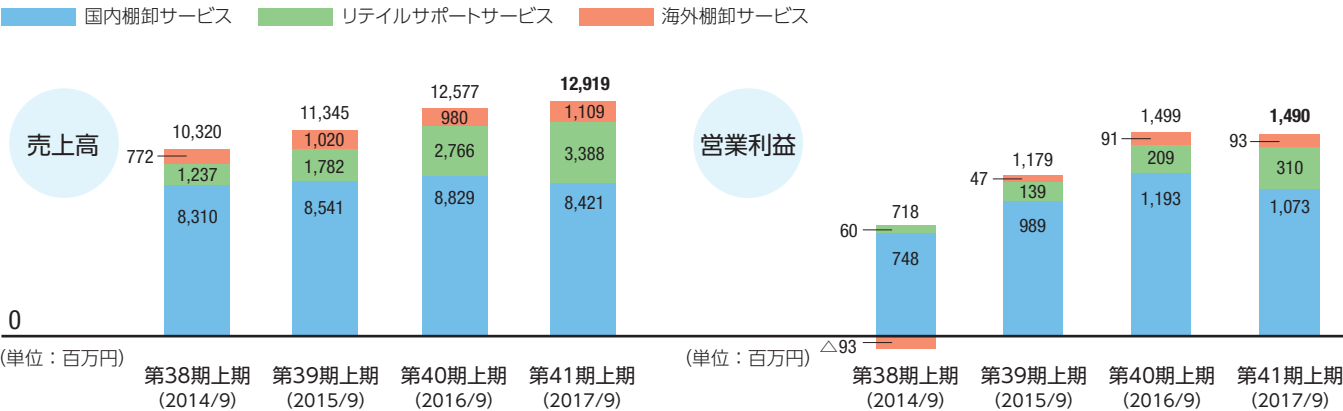
「国内棚卸サービス」
では減収

前期の臨時大型受注の反動
および受注調整分の復元が
想定より下回り減収

POINT 3

連結営業利益では
0.6%の微減

国内棚卸サービスが減収・減益も、
好調なリテイルサポートサービスが
牽引し、ほぼ前年同期並みの営業利益



「数字」で見る
エイジス



スプリングキャピタル株式会社
代表取締役社長
チーフアナリスト
井上 哲男氏

5期連続の増収・増益が
意味すること

同社は今年度の通期見込みにおいて、5期連続の増収(「売上高」・増益(「営業利益」、「経常利益」、「親会社株主に帰属する当期純利益」の全項目)を見込んでいる。このような安定的な成長を継続している企業が全社中どのくらいあるのかを検証する。

●株式の状況 ※当社は2017年4月1日に1:2の株式分割を行いました

発行可能株式総数	28,000,000株
発行済株式の総数	10,771,200株
株主数	3,405名

●大株主(上位10名)

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
有限会社斉藤ホールディングス	1,883,000	17.48
齋藤 昭生	1,413,560	13.12
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO) (常任代理人) 株式会社三菱東京UFJ銀行	936,400	8.69
齋藤 茂男	407,800	3.79
小林 美保子	383,600	3.56
齋藤 泰範	255,340	2.37
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	187,900	1.74
清水 昭順	160,140	1.49
エイジス従業員持株会	140,360	1.30
MSCO CUSTOMER SECURITIES (常任代理人) モルガン・スタンレー MUFG証券株式会社	130,400	1.21

(注)当社は、自己株式1,965,588株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

●会社概要

会社名	株式会社エイジス(英文名 AJIS CO., LTD.)
資本金	475百万円
設立年月日	1978年5月23日
従業員数	253名(連結680名)
営業拠点	直営48カ所 FC38カ所 (合計86カ所)
事業内容	実地棚卸サービス
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行 千葉銀行 みずほ銀行 三井住友銀行
ホームページ	http://www.ajis.jp

●取締役および監査役

代表取締役社長	齋 藤 昭 生
常務取締役	高 橋 一 人
常務取締役	竹之下 正 夫
取締役	山 根 洋 行
取締役	福 田 久 也
取締役	森 和 弘 (社外取締役)
常勤監査役	増 子 泰 由 (社外監査役)
常勤監査役	鎌 田 陽 一
監査役	船 橋 茂 紀 (社外監査役)

PROFILE

国内保険会社運用部門長を経て、UAMグループ、UAMジャパン・インクのチーフ・ストラテジスト兼日本株運用責任者に転身。その後、プラウド投資顧問、QUICK、アジア最大規模のファンドオブファンズであるMCPグループで同職を歴任後、2014年にスプリングキャピタル株式会社代表に就任。30年におよぶファンドマネージャーの経験を活かした株式市場・銘柄分析が機関投資家、個人投資家から高い支持を受けている。日経CNBCテレビ「夜エクスプレス」、ラジオNIKKEI「アサザイ」キャスター。